

登録コード	A3316200	開講年度	2026				
授業科目	雑草学					担当教員	渡邊 修
英文授業名	Weed Science						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・2時限	対象学生	2年生
講義室	農学部30番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前がキラム対象】農学に関する広い知識・技術を修得している				⇔	雑草の生理、生態、防除法に関する基礎的項目を修得し、総合的雑草管理に向けた理解を深める。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前がキラム対象】農学に関する専門的知識・技術を修得している。				⇔	雑草の生理、生態、防除法に関する基礎的項目を修得し、総合的雑草管理に向けた理解を深める。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	耕地生態系における雑草の種類や生態，種子繁殖，種子休眠，群落構造，種内変異に関する基礎的項目と研究事例を学び，雑草の生理生態的特性を理解する。グローバル化の進展に伴い，国内で急速に蔓延している外来雑草の侵入経路，被害実態の紹介を行い，外来種がもつ生態特性の整理を行う。除草剤を中心とした雑草管理法の基礎，除草剤を適切に使った総合的防除法と雑草発生のモニタリングの重要性を学び，総合的雑草管理に向けた取組の重要性を理解する。						
(5)授業計画	第1回：全体の概要：耕地生態系と雑草 第2回：雑草の生態（1）種類と分布 第3回：雑草の生態（2）世界の雑草・有用性 第4回：雑草の生態（3）種子発芽・休眠性 第5回：雑草の生態（4）繁殖特性 第6回：雑草の生態（5）個体群の増殖・生活型 第7回：雑草の生態（6）種内変異とトレード・オフ 第8回：雑草の管理（1）雑草害・光競合 第9回：雑草の管理（2）除草剤1 第10回：雑草の管理（3）除草剤2 第11回：外来雑草（1）侵入経路と被害実態 第12回：外来雑草（2）被害と対策 第13回：外来雑草（3）地域における対策 第14回：外来雑草（4）モニタリング 第15回：まとめ 授業アンケート 第16回目：期末試験						
(6)自主学習の指針	講義資料は適宜e-ALPSに掲示するので，復習に利用してください。 雑草の名前がたくさん出てくるので，自主的に植物名を覚えること。						
(7)成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある 可：授業の達成目標の水準にある 不可（D）：授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）：授業の達成目標の水準にない なお，達成目標の水準は，授業で示す例題や小レポート課題程度の水準です。						
(8)事前事後学習の内容	1：講義内容の一部はPDF資料としてe-ALPSに掲示し，復習できるようにする。 2：課題レポートについては，複数回の講義を総括したものを出すので，よく復習すること。 3：講義の中で出てきた雑草の名前を復習して自分で覚えること。						
(9)テストやレポートの予定	授業ごとに小課題を実施し，e-ALPSで提出すること。 出席確認システムによる出席は参考程度とし，小課題の提出状況で出席を判断する。 16回目に期末試験を実施する。						
(10)成績評価の方法	小課題，期末試験で評価する。 90点以上：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可，59点以下：不可 2/3以上の出席を要する。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	渡邊（wtgabe@shinshu-u.ac.jp）						
(12)履修上の注意	植物資源科学コース等の学生は，「作物学」「栽培学」「土壌学」「植物病理学」などと合わせて受講することが望ましい。						
【教科書】	身近な雑草の生物学，根本，富永編，2014，朝倉書店						

【教科書】	雑草学総論，伊藤操子，1993．養賢堂 農業と雑草の生態学，浅井編，2007，文一総合出版
【参考書】	講義の中で適宜配布。 ミニ雑草図鑑 広田伸七 農文協